



国民春闘共闘

第32号
2015年7月9日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015春闘・第8回賃上げ集計（最終）

単純 5,698 円 加重 6,170 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7月6日、2015年春闘における最終集計となる第8回目の賃金改定集計を行いました。

<回答状況>

	2015年	2014年
登録組合数	835	854
回答組合数	564 (67.5%)	544 (63.7%)
うち金額・率回答	417	403
うち「定昇のみ」など言葉による回答	147	141
うち上積み獲得	117 (20.7%)	117 (21.5%)
うち妥結組合数	374 (66.3%)	347 (63.8%)

<回答内容>

集計方法&対象		2015年	2014年	(前年比)
単純平均	額(円)	5,698	5,739	-41
	率(%)	2.07	2.02	+0.05
加重平均	額(円)	6,170	6,174	-4
	率(%)	2.08	2.09	-0.01
	組合員数(人)	104,036	103,538	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況(金額での比較)>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	(前年超)	(同 額)
352	214 (60.8%)	180	34

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	352	5,818	5,716	+102
	率(%)	203	2.15	2.11	+0.04

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇のみ」など言葉による回答は計算から除いています。

〈集計結果の概要〉

回答引出し状況

第8回目となる最終集計は27単産・部会（うち、通信労組、全損保、特殊法人労連は、数字ではなく言葉による回答のため総括表には表記せず）での集計となりました。

登録835組合のうち、回答を引き出したのは564組合・67.5%で、前年同期（2014年7月3日：544組合・63.7%）を3.8割上回りました。このうち有額回答引出し組合は417組合で、「定昇」、「ベア獲得」など言葉による回答は147組合となっています。

なお、「ゼロ回答」11組合、「回答延期」3組合、「賃金カット提案」1組合が報告されています。

回答引出し率をみると、集中回答日翌日の第1回集計（3月12日）時点で約2割、4月上旬で約4割、5月上旬で約5割と前年とほぼ同様に推移しました。

全体の回答内容

有額回答を引き出した417組合での賃上げ回答の水準は、単純平均（一組合あたりの平均）で5,698円・2.07%、加重平均（組合員一人あたりの平均）で6,170円・2.08%です。

前回調査からは単純平均で31円減・+0.01割、加重平均で12円増・+0.01割となっています。対前年同期比では、単純平均41円減・+0.05割、加重平均4円減・-0.01割となっており、最終集計においても前年並みの水準にとどまりました。

回答引出し組合のうち、数字にわたる上積み回答を引き出したのは、117組合（20.7%）で、前年同期（117組合・21.5%）とほぼ同水準となっています。化学一般労連の組合で7次回答を引き出したのをはじめ、6次回答がJMIU（2組合）、化学一般労連、地方マスコミ（各1組合）の計4組合、5次回答がJMIU、日本医労連（各1組合）の計2組合、4次回答がJMIU（3組合）、化学一般労連、日本医労連（各1組合）の計5組合と続いています。

賃上げの最高額は賃金引上げの最高額は出版労連の組合での16,730円で、28組合（前年同期31組合）が1万円以上の賃金引上げを勝ち取っています。引上げ率での最高はJMIUの組合での6.9%で、159組合（前年同期147組合）が2%以上の引上げ率となっています。

単産・部会別にみると、建設関連労連、JMIU、全証労協、民放労連、出版労連、映演労連、地方マスコミが額で単純・加重ともに全体平均以上となっており、率では、全農協労連、建設関連労連、JMIU、検数労連、民放労連、出版労連、映演労連、地方登録組合が全体平均以上となっています。

単純平均額で前年同期と比較可能な24単産・部会のうち、10単産・部会が対前年同期比プラス、14単産・部会がマイナスとなっています。

規模別でみると、「1000人以上」が単純・加重平均額ともに6千円台となっており、率では「29人以下」、「30~99人」、「1000人以上」で全体平均以上となっています。単純平均額での対前年同期比をみると「100~299人」が257円増、「1000人以上」が37円増となっていますが、「29人以下」、「30~99人」、「300~999人」では若干のマイナスとなっています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での前年実績対比が可能な352組合での単純平均額は5,818円で、前年実績比102円増となっています。集中回答日翌日（3月12日）の第1回調査時では前年実績比307円減からの

スタートとなりましたが、調査を重ねるごとにマイナス幅は縮小し、4月24日の第5回調査でプラスに転じ、それ以降は前年実績を僅かに上回る水準を維持しながら推移しました。

金額で比較可能な352組合の60.8%にあたる214組合が前年実績額以上の回答を引き出しています。生協労連の組合が前年実績比8,000円超の回答を引き出したのをはじめ、金融労連の組合が前年実績比+5,000円台を引き出すなど、180組合が前年実績を超える回答を引き出しています。

単産・部会別にみると、比較可能な23単産・部会のうち、地方登録組合(971円増)、映演労連(908円増)、全倉運(670円増)、JMIU(538円増)、化学一般労連(471円増)など11単産・部会が対前年実績比プラス、12単産・部会がマイナスとなっています。

引き上げ率で前年実績と比較可能な203組合での単純平均率は2.15%で、前年実績比+0.04%となっています。率で比較可能な18単産・部会のうち、対前年実績比プラスは11単産・部会、マイナスが7単産・部会となっています。

規模別では、「29人以下」が65円増・+0.16%、「30~99人」が228円増・+0.08%、「100~299人」が15円減・-0.02%、「300~999人」が192円増・-0.02%、「1000人以上」が112円減・-0.02%となっています。

妥結率・妥結組合での回答結果

回答を引き出した564組合のうち妥結したのは374組合で、妥結率は66.3%となっています(「定昇のみ」など言葉による回答組合も含む)。前年同期(347組合・63.8%)を2.5%上回っています。妥結状況の推移をみると、5月後半に入り妥結が進んだ前年とほぼ同水準で推移しており、今春闘でも各組合で粘り強く交渉が繰り広げられたことが伺える結果となりました。

妥結組合での回答結果は、単純平均で5,958円・2.16%(前年同期比165円増・+0.09%)、加重平均で6,166円・2.08%(同149円増・+0.14%)となっています。

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の賃上げは、別表の15単産の239組合で370件の成果獲得となっています。前年同期(2014年7月3日時点:223組合・334件)を16組合・36件上回っています。

パートやアルバイトなど(再雇用・継続雇用で働く仲間を除く)で働く仲間の時間額での引き上げ獲得は252件で、前年同期(241件)を11件上回っています。日額は7件(前年比14件減)、月額は77件(同31件増)となっています。

時間額での引き上げ額報告のあった181件の単純平均額は26.8円で、前年実績比0.2円増となっています。日額では7件平均105円、月額では48件平均3,499円となっています。

生協労連の組合で時間額300円の引き上げを勝ち取ったのをはじめ、JMIU、日本医労連、福祉保育労では時間額100円以上の回答を引き出しています。また、金融労連、生協労連、全労連・全国一般の職場からは月額10,000円引き上げなどの報告も寄せられています。

再雇用・継続雇用で働く仲間の賃上げは、前回調査と変わらず、時間額17件(前年同期比同件数)、月額17件(同3件増)の成果獲得となっています。時間額での引上げ額は13件平均で18.3円(前年実績比4.4円増)、月額は13件平均4,123円(前年実績比422円増)となっています。JMIUでは月額20,000円引き上げをはじめ2組合が月額10,000以上の回答を引き出しています。

企業内最低賃金改訂状況

企業内最低賃金協約の締結・改定状況は、別表の 11 単産 115 組合から報告が寄せられています。前年同期（131 組合）を僅かに下回っています。

時間額での獲得件数は 97 件（前年同期 3 件増）で、日額は 39 件（同 16 件増）、月額は 62 件（同 8 件減）となっています。

時間額で改定後の金額揭示のあった 84 組合での平均額は 888 円で、日額は 26 組合平均 7,338 円、月額では 50 組合平均 166,645 円となっています。

引上げ額・率は、時間額で 54 組合平均 11.3 円・52 組合平均 1.35%、日額は 14 組合平均 96 円・13 組合平均 1.47%、月額は 35 組合平均 12,190 円・33 組合平均 1.17%の上げ幅となっています。

その他、生協労連（ヘルパー）、日本医労連（看護師、ヘルパー）、建交労（大型運転手）で職種別の最低賃金協定を勝ち取っています。

まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定

<参考> 他団体の賃上げ集計結果

●連合の第 6 回回答集計（平均賃上げ方式・7 月 2 日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	5,469	272.8	6,354	2.20	5,928	2.07
中小共闘	4,111	36.8	4,547	1.88	4,197	1.76

※中小共闘は、規模 300 人未満

※単純集計（一組合あたりでの平均）での公表なし

●連合・第 6 回回答集計（非正規雇用労働者の賃金引上げ・7 月 2 日公表）は以下のとおりです。

集計対象	時間額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	平均時給	人数(万)	賃上額	平均時給
全組合	293	14.59	939.52	58.1	16.78	917.93

集計対象	月額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	率(参考)	人数(万)	賃上額	率(参考)
全組合	182	3,275	1.66	4.9	4,038	2.01

●日本経団連の大手企業第2回回答集計（6月19日現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業		加重平均				単純平均			
	社数	人数	金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
加盟企業	116	—	8,235	2.52	7,370	2.28	6,967	2.24	6,204	2.02

※調査対象は、原則として東証一部上場、従業員数500人以上の企業

●日本経団連の中小企業第1回回答集計（6月3日現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業		加重平均				単純平均			
	社数	人数	金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
加盟企業	240	—	4,601	1.83	4,438	1.80	4,383	1.77	4,196	1.71

※調査対象は、原則として従業員500人未満、17業種741社